

## 地域自殺実態プロフィール(2019)

## 【京都府宮津市】

(行政区コード：262056)

## 推奨される重点パッケージ

重点パッケージ	勤務・経営 高齢者 生活困窮者 子ども・若者 無職者・失業者
---------	--

「推奨パッケージ」は下記の「地域の自殺の特徴」の上位の3区分の性・年代等の特性と「背景にある主な自殺の危機経路」を参考に選定している。「主な自殺の危機経路」は、自殺実態白書2013に基づき、あくまでも、該当する性・年代等の特性に応じ、全国的に見て代表的と考えられる「自殺の危機経路」を示すものであり、提示された経路が唯一のものではない。なお、ハイリスク地及び自殺手段については次頁の「地域の自殺の特性の評価」のランク欄に示された☆☆の地域について記載している。

自らの自治体で実施すべき具体的な施策については、推奨パッケージをまず目安として確認いただき、その上で次頁の「地域の自殺の特性の評価」（人口10万あたりの自殺死亡率等の全国の中での相対的な指標値をもとに評価している）等、地域自殺実態プロフィールの他の詳細データ等を勘案して検討いただきたい。

## ■地域の自殺の特徴

・京都府宮津市の自殺者数は2014～2018年合計15人（男性12人、女性3人）（地域における自殺の基礎資料（自殺日・住居地））

## 地域の主な自殺の特徴（特別集計（自殺日・住居地、2014～2018年合計））（公表可能）

上位5区分	自殺者数 5年計	割合	自殺死亡率* (10万対)	背景にある主な自殺の危機経路**
1位:男性40～59歳有職同居	4	26.7%	45.3	配置転換→過労→職場の人間関係の悩み+仕事の失敗→うつ状態→自殺
2位:男性60歳以上無職同居	4	26.7%	42.4	失業(退職)→生活苦+介護の悩み(疲れ)+身体疾患→自殺
3位:男性20～39歳無職同居	2	13.3%	329.1	①【30代その他無職】ひきこもり+家族間の不和→孤立→自殺/②【20代学生】就職失敗→将来悲観→うつ状態→自殺
4位:男性40～59歳無職独居	1	6.7%	575.9	失業→生活苦→借金→うつ状態→自殺
5位:男性20～39歳有職独居	1	6.7%	102.1	①【正規雇用】配置転換→過労→職場の人間関係の悩み+仕事の失敗→うつ状態→自殺/②【非正規雇用】(被虐待・高校中退)非正規雇用→生活苦→借金→うつ状態→自殺

警察庁自殺統計原票データを厚生労働省（自殺対策推進室）において特別集計

順位は自殺者数の多さにもとづき、自殺者数が同数の場合は自殺死亡率の高い順とした。

\*自殺死亡率の母数（人口）は平成27年国勢調査を元に自殺総合対策推進センターにて推計した。

\*\*「背景にある主な自殺の危機経路」は自殺実態白書2013（ライフリンク）を参考にした（詳細は付表の参考表1参照）。

地域の自殺の概要 (グラフ) (特別集計 (自殺日・住居地、2014~2018 年合計)) (公表可能)



(数表は付表 1、2 参照)

警察庁自殺統計原票データを厚生労働省 (自殺対策推進室) において特別集計

■地域の自殺の特性の評価 (2014~2018 年合計)

	指標	ランク
総数1)	15.72	-
男性1)	26.52	-a
女性1)	5.98	-
20歳未満1)	7.34	★★★a
20歳代1)	29.30	★★a
30歳代1)	25.04	★a
40歳代1)	28.48	★a
50歳代1)	16.79	-
60歳代1)	12.10	-
70歳代1)	14.41	-
80歳以上1)	7.07	-
若年者(20~39歳)1)	27.00	★★a
高齢者(70歳以上)1)	10.71	-
勤務・経営2)	22.6	★a
無職者・失業者2)	37.7	★a
ハイリスク地3)	107%/+1	-
自殺手段4)	33%	-

1) 地域における自殺の基礎資料にもとづく自殺死亡率 (10 万対)。自殺者数 1 人の増減でランクが変わる場合はランクに a をつけた。 2) 特別集計にもとづく 20~59 歳を対象とした自殺死亡率 (10 万対) (公表可能)。自殺者数 1 人の増減でランクが変わる場合はランクに a をつけた。 3) 地域における自殺の基礎資料にもとづく発見地÷住居地 (%) とその差 (人)。自殺者 (発見地) 1 人の減少でランクが変わる場合はランクに a をつけた。 4) 地域における自殺の基礎資料もしくは特別集計にもとづく首つり以外の自殺の割合 (%)。首つり以外の割合が多いと高い。(首つりと首つり以外の人数が共に 5 人以上であれば、公表可能 (地域における自殺の基礎資料から算出可能な場合の公表は差し支えない)。自殺手段関連資料 (p.7) 参照) ・指標欄の「\*」は指標を算出していないことを示す。

ランクの標章 (詳細は付表の参考表 2、3 参照)

ランク	
★★★/☆☆	上位 10%以内
★★/☆	上位 10~20%
★	上位 20~40%
-	その他
**	評価せず

※市区町村について全国市区町村に対するランクを評価した。

■ 全般的な状況

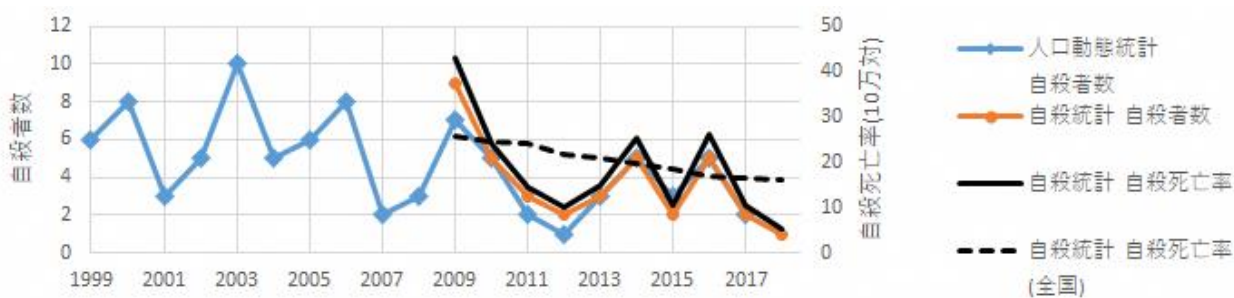
	2014	2015	2016	2017	2018	合計	平均
自殺統計 自殺者数(自殺日・住居地)	5	2	5	2	1	15	3
自殺統計 自殺死亡率(自殺日・住居地)	25.2	10.3	26.2	10.7	5.5	15.7	15.7
人口動態統計 自殺者数	5	3	5	2	0	15	3.0

性・年代別 (2014～2018年平均) (地域における自殺の基礎資料(自殺日・住居地))



\*全自殺者に占める割合を示す。  
(数表は付表3～5参照)

長期的な推移



(数表は付表6参照)

■ 子ども・若者関連資料

児童・生徒等の内訳 (特別集計 (自殺日・住居地、2014~2018年合計))

※5人未満 (斜体) は公表不可 (公表する場合、区分を合算し5人以上にすること)

学生・生徒等 (全年齢)	自殺者数	割合	全国割合
中学生以下			13.1%
高校生			26.5%
大学生			47.4%
専修学校生等			13.0%
合計			100%

警察庁自殺統計原票データを厚生労働省 (自殺対策推進室) において特別集計

子ども・若者の性・年代・職業 (8区分)・同居人の有無別の集計については付表2を参照。

■勤務・経営関連資料

有職者の自殺の内訳（特別集計（自殺日・住居地、2014～2018年合計））（公表可能）

（性・年齢・同居の有無の不詳を除く）

職業	自殺者数	割合	全国割合
自営業・家族従業者	1	16.7%	20.3%
被雇用者・勤め人	5	83.3%	79.7%
合計	6	100.0%	100.0%

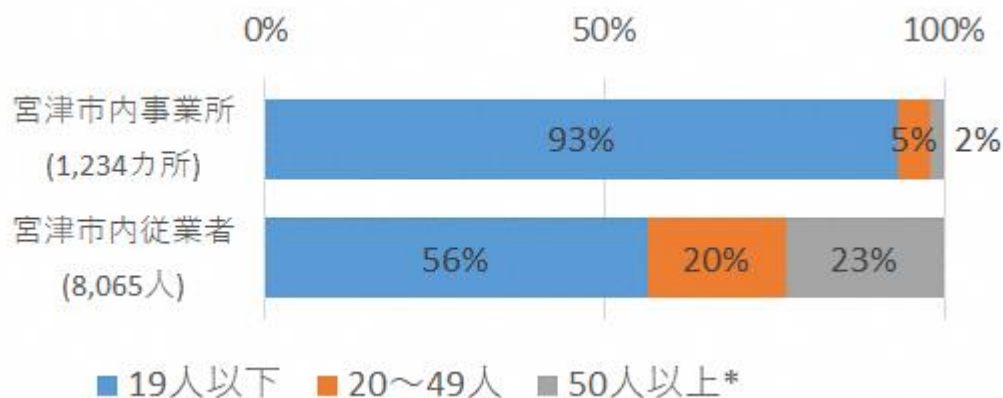
警察庁自殺統計原票データを厚生労働省（自殺対策推進室）において特別集計  
地域の就業者の常住地・従業地（H27 国勢調査）※2017 提供分から更新なし

宮津市		従業地		
		自区域	他区域	不詳・外国
常住地	自区域	6,218	2,258	181
	他区域	3,197	—	—

・宮津市内常住就業者の 26.1%が他市区町村で従業している。また、宮津市内従業者の 34.0%が他市区町村に常住している。

・地域によっては労働力状態不詳の割合が高く、実際の従業者数を反映していないことがある。

地域の事業所規模別事業所／従業者割合（H28 経済センサス-基礎調査）



	総数	1～4人	5～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～99人	100人以上	出向・派遣従業者のみ
事業所数	1,234	822	233	96	37	21	17	5	3
従業者数	8,065	1,676	1,533	1,327	863	786	1,192	688	—

労働者数 50 人未満の小規模事業場ではメンタルヘルス対策に遅れがあることが指摘されており、地域産業保健センター等による支援が行われている。自殺対策の推進の上でも地域の関係機関との連携による小規模事業所への働きかけがのぞまれる。

■ 高齢者関連資料

60歳以上の自殺の内訳（特別集計（自殺日・住居地、2014～2018年合計））（公表可能）

性別	年齢階級	同居人の有無 (人数)		同居人の有無 (割合)		全国割合	
		あり	なし	あり	なし	あり	なし
男性	60歳代	1	0	20.0%	0.0%	17.1%	10.8%
	70歳代	2	0	40.0%	0.0%	15.1%	6.3%
	80歳以上	1	0	20.0%	0.0%	10.4%	3.6%
女性	60歳代	1	0	20.0%	0.0%	9.7%	3.2%
	70歳代	0	0	0.0%	0.0%	9.1%	3.8%
	80歳以上	0	0	0.0%	0.0%	7.4%	3.5%
合計		5		100%		100%	

警察庁自殺統計原票データを厚生労働省（自殺対策推進室）において特別集計高齢者（65歳以上）の多くが無職のため、性・年代別の同居者の有無を示した。60歳以上の性・年代・職業（8区分）・同居人の有無別の集計については付表2を参照。

■ ハイリスク地関連資料（地域における自殺の基礎資料（自殺日））

自殺者数の推移

自殺統計 (自殺日)	2014	2015	2016	2017	2018	合計	集計 (発見地/住居地)	
発見地	4	3	4	4	1	16	比	107%
住居地	5	2	5	2	1	15	差	+1

年代別自殺者数

20～合計	20歳未満	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80歳以上	不詳	合計
発見地	1	3	1	3	2	2	2	2	0	16
住居地	1	2	2	3	2	2	2	1	0	15

■自殺手段関連資料

手段別の自殺者数の推移（地域における自殺の基礎資料（自殺日・住居地））

手段	2014	2015	2016	2017	2018	合計	割合 (%)	全国 (%)
首つり	4		3			-	-	65.6%
服毒	0		0			-	-	2.4%
練炭等	0		1			-	-	6.9%
飛降り	0		0			-	-	10.6%
飛込み	0		0			-	-	2.5%
その他	1		1			-	-	11.9%
不詳	0		0			-	-	0.1%
合計	5		5			-	-	100.0%

地域における自殺の基礎資料で自殺の手段が秘匿処理されている（空欄がある）場合等は、以下の詳細の表を参考のこと。（市町村合併後や二次医療圏単位での集計で一部の（旧）市町村に秘匿処理されている場合、合計も空欄とし、5年合計は算出していない）

手段別の自殺者数の詳細（特別集計（自殺日・住居地、2014～2018年合計）

※斜体（5人未満）は公表不可（公表する場合、区分を合算し5人以上にすること）

手段	人数	割合	全国割合
首つり	10	66.7%	66.2%
首つり以外（小計）	5	33.3%	33.7%
服毒			2.5%
練炭等			7.0%
飛降り			9.9%
飛込み			2.4%
その他（小計）			12.0%
有機溶剤吸引			0.3%
排ガス			0.4%
その他のガス			1.4%
感電			0.3%
焼身			1.3%
爆発物			0.0%
銃器			0.1%
刃物			2.4%
入水			3.4%
その他			2.4%
不詳			0.1%
合計	15	100.0%	100.0%

警察庁自殺統計原票データを厚生労働省（自殺対策推進室）において特別集計

5人未満であっても「地域における自殺の基礎資料」から算出できる値は斜体としていない。5人以上の値であっても「地域における自殺の基礎資料」の秘匿値が算出できる場合は公表不可（斜体）としている。上記の特別集計結果の公表の際には、「地域における自殺の基礎資料」の秘匿値が算出できないことを確認してください。

「地域の自殺の特性の評価 (p.2)」での自殺手段の指標が公表可能となる条件は、本表の「首つり」と「首つり以外（小計）」の人数が共に5人以上であること。（地域における自殺の基礎資料から算出可能な場合の公表は差し支えない。）

■ 自殺者における未遂歴の有無

自殺者における未遂歴の推移 (地域における自殺の基礎資料 (自殺日・住居地))

未遂歴		2014	2015	2016	2017	2018	合計	割合 (%)	全国 (%)
総数	あり	0		1			-	-	19.7%
	なし	2		4			-	-	61.8%
	不詳	3		0			-	-	18.5%
	合計	5		5			-	-	100.0%

内訳

男性	あり	0			0		-		
	なし	2			0		-		
	不詳	3			0		-		
女性	あり	0	0			0	-		
	なし	0	0			0	-		
	不詳	0	0			0	-		

地域における自殺の基礎資料で未遂歴の有無が秘匿処理されている (空欄がある) 場合等は、以下の表を参考のこと。(市町村合併後や二次医療圏単位での集計で一部の (旧) 市町村に秘匿処理されている場合、合計も空欄とし、5年合計は算出していない)

自殺者における未遂歴の総数

(地域における自殺の基礎資料(再掲)もしくは特別集計 (自殺日・住居地、2014~2018年合計))

※特別集計による場合 (上記の表の総数に空欄がある場合)、5人未満 (斜体) は公表不可 (公表する場合、区分を合算し5人以上にすること)

未遂歴	自殺者数	割合	全国割合
あり			19.7%
なし	10	66.7%	61.0%
不詳			19.4%
合計	15	100.0%	100%

特別集計の場合は警察庁自殺統計原票データを厚生労働省 (自殺対策推進室) において集計

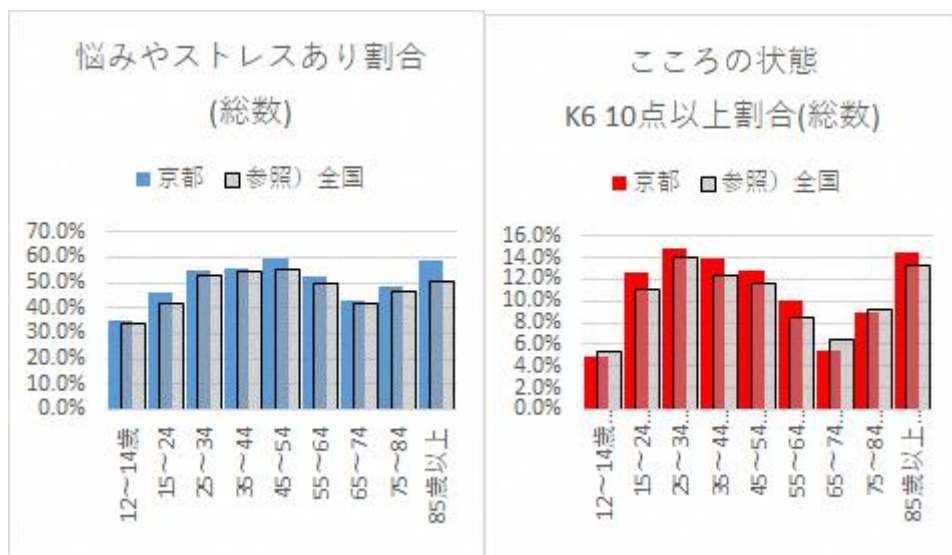
5人未満であっても「地域における自殺の基礎資料」から算出できる値は斜体としていない。5人以上の値であっても「地域における自殺の基礎資料」の秘匿値が算出できる場合は公表不可 (斜体) としている。上記の特別集計結果の公表の際には、「地域における自殺の基礎資料」の秘匿値が算出できないことを確認してください。



■住民の悩みやストレス、こころの状態の状況（国民生活基礎調査）

・本項目については市町村別の全国的な調査は行われていないため、参考として都道府県-21大都市別および全国の年齢（10歳階級）別の結果を掲載した。

平成28年国民生活基礎調査結果 ※2017提供分から更新なし



(数表は付表7参照。割合は回答不詳を除いて算出した。)

こころの状態の評価には、K6という尺度を用いている。K6は米国のKesslerらによって、うつ病・不安障害などの精神疾患をスクリーニングすることを目的として開発され、一般住民を対象とした調査で心理的ストレスを含む何らかの精神的な問題の程度を表す指標として広く利用されている。点数が高いほど、精神的な問題がより重い可能性があるとしてされている（点数の範囲は0～24点）。

■付表

参考表) 地域の自殺の特徴について

参考表1) 生活状況別の自殺の背景にある主な危機経路の例

生活状況				背景にある主な危機経路の例
男性	20~39歳	有職	同居	職場の人間関係/仕事の悩み(ブラック企業)→パワハラ+過労→うつ状態→自殺
			独居	①【正規雇用】配置転換→過労→職場の人間関係の悩み+仕事の失敗→うつ状態→自殺/②【非正規雇用】(被虐待・高校中退)非正規雇用→生活苦→借金→うつ状態→自殺
		無職	同居	①【30代その他無職】ひきこもり+家族間の不和→孤立→自殺 ②【20代学生】就職失敗→将来悲観→うつ状態→自殺
			独居	①【30代その他無職】失業→生活苦→多重債務→うつ状態→自殺 ②【20代学生】学内の人間関係→休学→うつ状態→自殺
	40~59歳	有職	同居	配置転換→過労→職場の人間関係の悩み+仕事の失敗→うつ状態→自殺
			独居	配置転換(昇進/降格含む)→過労+仕事の失敗→うつ状態+アルコール依存→自殺
		無職	同居	失業→生活苦→借金+家族間の不和→うつ状態→自殺
			独居	失業→生活苦→借金→うつ状態→自殺
60歳以上	有職	同居	①【労働者】身体疾患+介護疲れ→アルコール依存→うつ状態→自殺 ②【自営業者】事業不振→借金+介護疲れ→うつ状態→自殺	
		独居	配置転換/転職+死別・離別→身体疾患→うつ状態→自殺	
	無職	同居	失業(退職)→生活苦+介護の悩み(疲れ)+身体疾患→自殺	
		独居	失業(退職)+死別・離別→うつ状態→将来生活への悲観→自殺	
女性	20~39歳	有職	同居	離婚の悩み→非正規雇用→生活苦+子育ての悩み→うつ状態→自殺
			独居	①非正規雇用→生活苦→借金→うつ状態→自殺 ②仕事の悩み→うつ状態→休職/復職の悩み→自殺
		無職	同居	DV等→離婚→生活苦+子育ての悩み→うつ状態→自殺
			独居	①【30代その他無職】失業→生活苦+うつ状態→孤立→自殺 ②【20代学生】学内の人間関係→休学→就職失敗+うつ状態→自殺
	40~59歳	有職	同居	職場の人間関係+家族間の不和→うつ状態→自殺
			独居	職場の人間関係+身体疾患→うつ状態→自殺
		無職	同居	近隣関係の悩み+家族間の不和→うつ病→自殺
			独居	夫婦間の不和→離婚→生活苦→うつ状態→自殺
	60歳以上	有職	同居	介護疲れ+家族間の不和→身体疾患+うつ状態→自殺
			独居	死別・離別+身体疾患→うつ状態→自殺
		無職	同居	身体疾患→病苦→うつ状態→自殺
			独居	死別・離別+身体疾患→病苦→うつ状態→自殺

主な危機経路の例は自殺実態白書 2013 (ライフリンク) を参考にした。

宮津市 地域自殺実態プロフィール(2019)(JSSC 2019)

参考表2) 指標のランクの基準 (詳細)

当該自治体の各指標についての全国市区町村におけるランク

自殺死亡率のランク		ハイリスク地指標のランク		自殺手段指標のランク (首つり以外の自殺手段の割合)	
★★★★	上位 10%以内	☆☆	上位 10%かつ差+10人以上	☆☆	上位 10%かつ自殺者数 20人以上
★★★	上位 10~20%	☆	上位 10~20% かつ差+5人以上	☆	上位 10~20% かつ自殺者数 20人以上
★★	上位 20~40%	-	その他	-	その他
★	その他	**	評価せず	**	評価せず
-	評価せず				

参考表3) 指標の各ランクの下限と中央値 (2014~2018年)

指標	★★★★	★★★	★★	★	中央値
総数 (自殺死亡率 10万対)	28.4	23.5	19.4	17.9	17.9
男性 (自殺死亡率 10万対)	42.7	34.7	27.9	25.7	25.7
女性 (自殺死亡率 10万対)	18.0	14.3	11.4	10.3	10.3
20歳未満 (自殺死亡率 10万対)	5.7	3.6	1.6	0.0	0.0
20歳代 (自殺死亡率 10万対)	33.1	24.8	17.3	14.4	14.4
30歳代 (自殺死亡率 10万対)	39.3	27.4	19.8	17.0	17.0
40歳代 (自殺死亡率 10万対)	40.5	29.7	21.8	19.4	19.4
50歳代 (自殺死亡率 10万対)	47.2	35.7	25.9	23.1	23.1
60歳代 (自殺死亡率 10万対)	37.5	28.3	21.6	19.0	19.0
70歳代 (自殺死亡率 10万対)	45.3	33.2	24.2	21.6	21.6
80歳以上 (自殺死亡率 10万対)	51.8	37.7	26.0	22.1	22.1
若年者 (20~39歳、自殺死亡率 10万対)	33.0	24.8	18.9	17.1	17.1
高齢者 (70歳以上、自殺死亡率 10万対)	43.8	33.7	25.3	22.6	22.6
勤務・経営 (20~59歳、自殺死亡率 10万対)	31.0	22.8	17.3	15.5	15.5
無職者・失業者 (20~59歳、自殺死亡率 10万対)	67.1	50.6	37.3	32.8	32.8

指標	☆☆	☆	中央値
ハイリスク地 (発見地÷住居地(%)とその差)	~147%かつ 差+10人以上	~122%かつ 差+5人以上	101%
自殺手段 (首つり以外の自殺手段の割合(%)。自殺者が0人の場合0%とした。)	~46%かつ 自殺者 20人以上	~40%かつ 自殺者 20人以上	31%

たとえば、総数 (自殺死亡率) が 28.0 のばあい、23.5 以上 28.4 未満なので★★に該当する。

宮津市 地域自殺実態プロフィール(2019)(JSSC 2019)

付表1 地域の自殺の概要 (グラフの元データ)

自殺者の割合と自殺死亡率 (10万対) (2014~2018年合計) (公表可能)

性別	年齢階級	職業	同独居	自殺者数	順位*	割合	自殺死亡率 (10万対)	推定* 人口	全国 割合	全国 自殺死亡率
男性	20~39歳	有職者	同居	0	8	0.0%	0.0	966.5	6.2%	15.7
			独居	1	5	6.7%	102.1	195.9	3.6%	29.5
		無職者	同居	2	3	13.3%	329.1	121.5	4.6%	55.3
			独居	0	8	0.0%	0.0	14.1	2.2%	88.9
	40~59歳	有職者	同居	4	1	26.7%	45.3	1766.1	10.3%	17.9
			独居	0	8	0.0%	0.0	264.3	4.1%	37.7
		無職者	同居	0	8	0.0%	0.0	155.9	5.0%	112.8
			独居	1	4	6.7%	575.9	34.7	4.3%	248.4
	60歳以上	有職者	同居	0	8	0.0%	0.0	1208.3	4.4%	15.3
			独居	0	8	0.0%	0.0	185.9	1.5%	36.4
		無職者	同居	4	2	26.7%	42.4	1885.7	12.6%	31.5
			独居	0	8	0.0%	0.0	357.1	7.0%	92.3
女性	20~39歳	有職者	同居	1	6	6.7%	29.8	671.6	1.6%	5.6
			独居	0	8	0.0%	0.0	87.9	0.7%	11.0
		無職者	同居	0	8	0.0%	0.0	394.4	3.1%	13.5
			独居	0	8	0.0%	0.0	18.1	0.8%	28.0
	40~59歳	有職者	同居	0	8	0.0%	0.0	1,250.2	2.1%	6.3
			独居	0	8	0.0%	0.0	102.8	0.5%	13.6
		無職者	同居	0	8	0.0%	0.0	791.8	5.2%	15.0
			独居	0	8	0.0%	0.0	62.2	1.4%	43.6
	60歳以上	有職者	同居	0	8	0.0%	0.0	525.9	0.8%	6.9
			独居	0	8	0.0%	0.0	112.8	0.2%	10.5
		無職者	同居	1	7	6.7%	6.5	3,055.1	9.6%	14.6
			独居	0	8	0.0%	0.0	934.2	4.0%	22.5

自殺者数については警察庁自殺統計原票データを厚生労働省（自殺対策推進室）において特別集計

\*各区分の自殺死亡率の母数とした推定人口については、平成27年国勢調査就業状態等基本集計を用い、労働力状態が「不詳」の人口を有職者と無職者（労働力人口のうち「家事のほか仕事」、「学業のかたわら仕事」と失業者および非労働力人口の合計）に按分した。

・本表中には20歳未満および年齢、職業、同独居の不詳1人を含まない。

付表2 性年齢階級別、職業（8区分）、同居の有無クロス表  
 （特別集計（自殺日・住居地）（2014～2018年合計））

※5人未満（斜体）は公表不可（公表する場合、区分を合算し5人以上にすること。）

性別	年齢階級	同居人の有無	職業							不詳
			有職者		無職等					
			自営業・ 家族従業者	被雇用者 ・勤め人	学生	主婦	失業者	年金等	その他 無職	
男性	20歳未満	あり								
		なし								
	20歳代	あり								
		なし								
	30歳代	あり								
		なし								
	40歳代	あり								
		なし								
50歳代	あり									
	なし									
60歳代	あり									
	なし									
70歳代	あり									
	なし									
80歳以上	あり									
	なし									
女性	20歳未満	あり								
		なし								
	20歳代	あり								
		なし								
	30歳代	あり								
		なし								
	40歳代	あり								
		なし								
50歳代	あり									
	なし									
60歳代	あり									
	なし									
70歳代	あり									
	なし									
80歳以上	あり									
	なし									

警察庁自殺統計原票データを厚生労働省（自殺対策推進室）において特別集計  
 ・本表中には年齢、同独居の不詳 0人を含まない。

付表2-1 （参考）付表2の上位10カテゴリー（5人未満は表記せず）（公表可能）

区分（H25～29合計）	人数
5人以上の区分はありません。	

宮津市 地域自殺実態プロフィール(2019)(JSSC 2019)

付表3 自殺者の性・年代別割合と自殺死亡率(10万対)(資料:付表4, 5)

2014~18 平均		割合 (%)		自殺死亡率 (10万対)	
		宮津市	全国	宮津市	全国
総数		100.0%	100.0%	15.72	17.57
男性		80.0%	68.9%	26.52	24.81
女性		20.0%	31.1%	5.98	10.68
男性	20歳未満	0.0%	1.7%	0.00	3.26
	20歳代	13.3%	7.5%	54.32	25.04
	30歳代	6.7%	9.4%	23.70	25.62
	40歳代	20.0%	12.2%	56.57	28.73
	50歳代	13.3%	12.1%	33.30	34.80
	60歳代	6.7%	11.1%	12.25	28.21
	70歳代	13.3%	8.8%	32.82	31.05
	80歳以上	6.7%	5.9%	20.89	38.60
女性	20歳未満	6.7%	0.8%	15.04	1.65
	20歳代	0.0%	2.8%	0.00	9.84
	30歳代	6.7%	3.5%	26.54	9.93
	40歳代	0.0%	4.7%	0.00	11.29
	50歳代	0.0%	4.6%	0.00	13.29
	60歳代	6.7%	5.1%	11.95	12.39
	70歳代	0.0%	5.2%	0.00	15.35
	80歳以上	0.0%	4.4%	0.00	15.58

付表4 自殺者の推移(自殺統計(自殺日・住居地))

自殺者数		2014	2015	2016	2017	2018	合計
総数		5	2	5	2	1	15
男性	合計	5	2	4	0	1	12
女性	合計	0	0	1	2	0	3
男性	20歳未満	0	0	0	0	0	0
	20歳代	1	1	0	0	0	2
	30歳代	0	0	1	0	0	1
	40歳代	2	0	1	0	0	3
	50歳代	1	0	0	0	1	2
	60歳代	1	0	0	0	0	1
	70歳代	0	0	2	0	0	2
	80歳以上	0	1	0	0	0	1
女性	20歳未満	0	0	0	1	0	1
	20歳代	0	0	0	0	0	0
	30歳代	0	0	0	1	0	1
	40歳代	0	0	0	0	0	0
	50歳代	0	0	0	0	0	0
	60歳代	0	0	1	0	0	1
	70歳代	0	0	0	0	0	0
	80歳以上	0	0	0	0	0	0

宮津市 地域自殺実態プロフィール(2019)(JSSC 2019)

付表5 住民基本台帳に基づく人口（住基人口）（総務省）

人口		2014	2015	2016	2017	2018	合計
総数		19,808	19,452	19,116	18,743	18,324	95,443
男性	合計	9,361	9,217	9,072	8,879	8,712	45,241
女性	合計	10,447	10,235	10,044	9,864	9,612	50,202
男性	20歳未満	1,492	1,461	1,411	1,333	1,288	6,985
	20歳代	785	753	740	725	679	3,682
	30歳代	924	879	832	802	783	4,220
	40歳代	1,080	1,060	1,063	1,053	1,047	5,303
	50歳代	1,272	1,236	1,193	1,163	1,142	6,006
	60歳代	1,655	1,639	1,655	1,658	1,558	8,165
	70歳代	1,213	1,243	1,214	1,180	1,244	6,094
	80歳以上	940	946	964	965	971	4,786
女性	20歳未満	1,442	1,379	1,334	1,267	1,226	6,648
	20歳代	684	660	629	618	553	3,144
	30歳代	845	779	740	715	689	3,768
	40歳代	1,056	1,063	1,034	1,044	1,032	5,229
	50歳代	1,257	1,202	1,199	1,142	1,109	5,909
	60歳代	1,699	1,705	1,698	1,687	1,578	8,367
	70歳代	1,631	1,594	1,533	1,494	1,532	7,784
	80歳以上	1,833	1,853	1,877	1,897	1,893	9,353

付表6 長期推移

年	人口動態統計 自殺者数	自殺統計		
		自殺者数	自殺死亡率	自殺死亡率 (全国)
1999	6			
2000	8			
2001	3			
2002	5			
2003	10			
2004	5			
2005	6			
2006	8			
2007	2			
2008	3			
2009	7	9	42.83	25.56
2010	5	5	24.06	24.66
2011	2	3	14.64	24.06
2012	1	2	9.89	21.78
2013	3	3	14.95	21.06
2014	5	5	25.24	19.63
2015	3	2	10.28	18.57
2016	5	5	26.16	16.95
2017	2	2	10.67	16.52
2018		1	5.46	16.18

(自殺死亡率は人口 10 万対)

宮津市 地域自殺実態プロフィール(2019)(JSSC 2019)

付表7 国民生活基礎調査 健康 (第4巻) 閲覧 第4表 (閲覧公表 表番号2) 世帯人員 (12歳以上), 悩みやストレスの有 - 悩みやストレスの原因 (複数回答) - 無・性・年齢 (10歳階級)・都道府県 - 21大都市 (再掲) 別、閲覧 第5表 (閲覧公表 表番号5) 世帯人員 (12歳以上), ころの状態 (点数階級)・性・年齢 (10歳階級)・都道府県 - 21大都市 (再掲) 別より抜粋 (H28)

性年齢階級	第4表より抜粋			第5表より抜粋				
	総数	悩みや ストレスあり	不詳	総数	0～4 点	5～9 点	10点 以上	不詳
京都								
総数	2213	1110	42	2213	1447	395	226	146
12～14歳	67	22	4	67	51	7	3	6
15～24	250	114	1	250	173	40	31	6
25～34	199	108	1	199	125	42	29	4
35～44	312	173	2	312	198	60	42	11
45～54	354	209	4	354	224	74	44	13
55～64	324	166	5	324	222	57	31	14
65～74	389	164	9	389	271	60	19	39
75～84	240	112	10	240	144	40	18	39
85歳以上	78	43	5	78	39	14	9	16

二次医療圏については当該都道府県の結果を表示。